

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館
2026年秋季企画展

諭吉 と 熊楠

— 未完の二人 —

Fukuzawa Yukichi and Minakata Kumagusu:
Lives Beyond Completion

2026年10月15日(木) — 12月12日(土)

開館時間：10：00～18：00

休館日：10月28日(水)、11月24日(火)、11月25日(水)、日曜日、祝日(11月22日・23日は開館)

入場料：無料

主催：福澤諭吉記念慶應義塾史展示館、南方熊楠顕彰館、(公財)南方熊楠記念館

後援：和歌山県、田辺市、白浜町

協力：国立科学博物館

会場：福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館企画展示室(図書館旧館2階)

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾三田キャンパス内

TEL 03-5427-1200 E-MAIL info@history.keio.ac.jp

画像：南方熊楠写真 南方熊楠顕彰館蔵／福澤諭吉写真 慶應義塾福澤研究センター蔵／土宜法龍宛南方熊楠書簡(南方マンダラ)
1903年 南方熊楠顕彰館蔵／レオン・ド・ロニー宛福澤諭吉書簡、1862年 慶應義塾福澤研究センター蔵



諭吉を通して熊楠を描き出す、 熊楠を通して諭吉を描き直す



5

「日本人の可能性の極限」とも呼ばれた南方熊楠(1867-1941)と、近代日本を代表する思想家・教育者である福澤諭吉(1835-1901)の両者は、直接の接点はほぼありませんでした。しかし熊楠は、在野を貫き、無位無冠の人として生きた諭吉を意識していたことが知られています。また諭吉や慶應義塾の和歌山人脈は、熊楠の生涯に影響を与えた周囲の人々と幅広く豊かに重なりあっています。

本展では、それぞれに興味深く膨大な研究蓄積のあるこの二人の智の探求に対する姿勢、人間観や自然観、アジア情勢や国家との間合い、さらにはその個性的なキャラクターなどを比較することで、二人の重なりや違い、目指していたことを改めて描き直すを試みます。



1



2



3

◆シンポジウム

「諭吉と熊楠をむすぶ——紀州、倫敦、そして……。」

2026年10月31日(土)14時~16時半/当日先着500名

会場：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎ホール

巽孝之(慶應義塾大学名誉教授)

金文京(京大名誉教授、福澤諭吉協会理事)

武内善信(南方熊楠研究会前会長)

都倉武之(慶應義塾福澤研究センター教授)

司会：志村真幸(慶應義塾大学文学部准教授)

◆ギャラリートーク

(6回、いずれも14時~(50分程度)当日先着20名)

10月17日(土) 細矢剛(国立科学博物館 副館長・植物研究部長)

10月23日(金) 都倉武之(慶應義塾福澤研究センター教授)

10月27日(火) 志村真幸(慶應義塾大学文学部准教授)

11月6日(金) 田村義也(南方熊楠研究会会長)

11月9日(月) 志村真幸(慶應義塾大学文学部准教授)

11月16日(月) 岸本昌也(武蔵大学非常勤講師)

◆ウォークイベント

~熊楠と諭吉ゆかりの地を訪ねて~

12月6日(日)神田~上野方面(予定)

参加無料、定員20名(抽選)

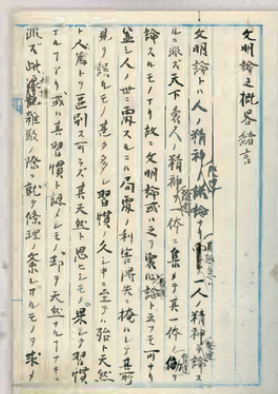
※詳細は当館ホームページにてお知らせいたします。



4



6



7

1 南方熊楠筆 ロンドン戯画 1903年 南方熊楠顕彰館蔵
4 南方熊楠作成 菌類図譜 国立科学博物館蔵
熊楠顕彰館蔵

2 南方熊楠使用 携帯用顕微鏡 南方熊楠記念館蔵
5 標本保管用のキャラメル大箱 南方熊楠顕彰館蔵
7 福澤諭吉筆 文明論の概略原稿 1875年 慶應義塾福澤研究センター蔵

3 南方熊楠収集 貝類コレクション 南方熊楠記
6 保田龍門製作 南方熊楠のデスマスク 南方